



ながす議会だより

潮がい

No.151



長洲町
合併65周年

ベテランの技光る！

令和4年第3回定例会、第2、3回臨時会

決算認定、条例等、補正予算

(2)～(5)

一般質問 10人が登壇し町政を問う

(6)～(16)

アンケート結果

(17)

委員会活動

(18)～(19)

町民のひろば

(20)

剪定をする町シルバー人材センターの皆さん



長洲町議会ホームページ
過去の議会だよりや会議録を
ご覧いただけます。

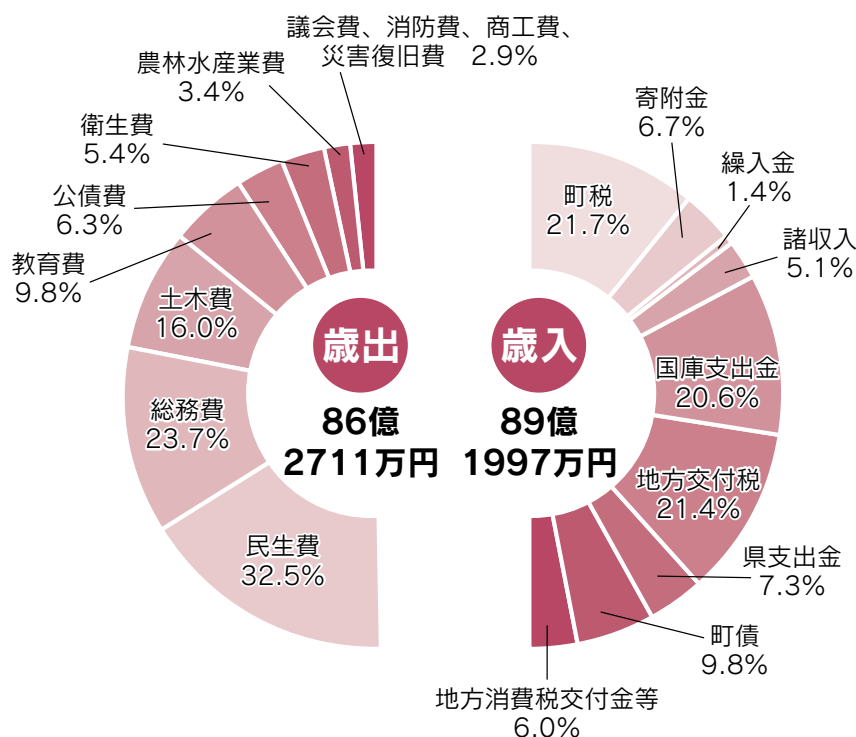
第3回定例会
9月12日～16日
(5日間)

町長から提案された決算認定6件、補正予算2件、条例の一部改正3件、議提1件を慎重に審議し、原案どおり可決された。

また、一般質問は10名が行い、さまざまな角度から町の姿勢をただした。

コロナ対策で守れた暮らし

令和3年度一般会計決算



主な事業



新型コロナワクチン接種
(衛生費)



新学校給食センター
(教育費)



町道赤田・上沖洲線
(土木費)

健全化判断比率

長洲町は早期健全化基準を下回っており、健全である。

項目	内容	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	早期健全化 基準
実質赤字比率	一般会計の赤字	—	—	—	15.0%
連結実質赤字比率	特別会計を含めての赤字	—	—	—	20.0%
実質公債費比率	実質的な借金の返済額の割合	7.6%	7.6%	6.9%	25.0%
将来負担比率	将来の負担割合	47.0%	41.5%	29.3%	350.0%

主な質疑



一般会計歳入

問 (前田議員)

ふるさと納税は前年度比2億円の減だが、どう分析しているか。

答 (まちづくり課長)

申込を行うサイトを10件に増やしたが、全国の自治体が競い合う中で納税額が減少した。魅力ある返礼品の増加に取組んでいく。

問 (竹本議員)

町民税の個人分が減となっているが、その要因は。

答 (税務課長)

給与所得の減少もあるが、納税者が前年から143名減と、労働人口の減少も影響している。

問 (荒木議員)

法人事業税交付金が予算に対し倍額になっている。要因は。

答 (総務課)

令和2年度実績をもとに予算化したのが、法人の収益等が伸びて法人事業税、県税の収入額が増加した結果、大幅に増加した。

一般会計歳出

問 (田成議員)

不用額で、障害者自立支援介護給付費・訓練等給付費等において給付実績が見込みを下回ったためとあるが、具体的内容は。

答 (福祉保健介護課)

コロナ感染拡大により2月、3月分が見込みより伸びなかったため。

問 (福田議員)

学校図書を充実させ、読書習慣の定着化を図ることが大事である。具体的に1人何冊読んだか。

答 (学校教育課長)

6校合計で15万688冊を貸し出し、利用人数は1万860人となっている。小中学生のほぼ全員が、毎月何らかの形で、図書館で本を借りている。



学校図書の充実を



コロナ禍でもPR!

問 (福本議員)

コロナ禍で行事ができないが、金魚と鯉の郷管理運営事業で、新しい発見や新規事業に結びつけたことはあったか。

答 (まちづくり課)

養魚組合、商工会、包括連携協定を締結している企業との特産品の開発、町のPR等の新たな取組ができるように協議を進めている。

問 (磯野議員)

第二腹赤地区の圃場整備はいつ終了するか。また今後整備が必要なところはあるか。

答 (農林水産課)

第二腹赤地区は令和5年度の権利者会議後に終了する。その後は、第三腹赤地区と鷺巣地区がある。

問 (濱崎議員)

各学校の地中熱換気システムは、コロナ禍で授業中に窓を開放しているが無駄ではないか。

答 (学校教育課長)

従来の使用法の方が費用対効果は大きい。教室の換気をしながら、コロナ感染拡大につながらないように教育環境を整えている。

問 (林議員)

住宅リフォーム補助事業の予算が半年で執行した。住宅の老朽化が進む中、ますますニーズが高まっていく。もっと予算を増やしていかなければならないのではないか。

答 (まちづくり課長)

9月定例会に補正予算等を計上している。町民のニーズに沿った、柔軟な対応をしていく。



住みよいまちを目指す

討 論

一 般 会 計

反 対

賛 成

無駄なコストの削減を

財源を有効に活用

(林議員)

反対する理由としては、①新型コロナウイルス感染拡大の状況に町民の不安は増している。町民の健康、命を守るため、がん検診の受診率を高める必要がある。②金魚タクシーの運行拡大に應えるよう、改善を求める。③住宅リフォーム補助事業への要望が多いため、改善を求める。④県の長洲港整備事業への負担割合が高く、町民の理解が得られない。の4点をあげる。

(荒木議員)

歳入総額は約89億2000万円で、前年度決算と比較し約10・9%減少している。これは国県支出金の減額が要因であると思われる。そのような中、町は財源を有効に活用し、住民福祉の増進を念頭に置き、各種事業に取組んだ。長洲小学校屋内運動場長寿命化事業や新学校給食センター建設事業等、これからの町を担う子ども達のために事業が実施された。新型コロナウイルス感染症が日常化した中、限られた財源で、多種多様なニーズに対応していくことを目指し、努力したことは評価できる。

後期高齢者医療保険特別会計

反 対

制度に問題あり

(林議員)

異常な物価高が暮らしに重くのしかかり、高齢になれば誰もが複数の疾患を抱え、医療費がかかることは避けては通れない。

高齢者の負担を増加させる後期高齢者医療制度は、老人保健制度に戻すべきである。

賛 成

円滑な運営と役割を果たしている

(松井議員)

医療の高度化や被保険者の高齢化、新型コロナウイルス感染拡大等、複雑な社会情勢を踏まえ、持続可能な医療制度を確保している。

水道事業会計

主な質疑



問 (田成議員)

管路経年化率が、40・7%まで増えている。今後、老朽化の分析及び検討が必要では。

答 (水道課長)

漏水が多い、経年劣化が激しいところに関しては、早期に管の更新を重点的に行っていく。

問 (磯野議員)

すぐにも改革に着手しないと、本当に厳しい経営状態になっていくと思う。改革の考えはあるか。

答 (町長)

安定的に水を供給していくため、課題を一つ一つ改革し、大きく転換しなければならぬ。水道事業の安定的な経営に努めている。



水道管の劣化が進んでいる

7月21日 第2回臨時会

一般会計補正予算

補正予算額 9513万円

主な事業

子育て世帯家計応援給付金 6990万円
中学校統合改修工事設計 997万円
新型コロナワクチン接種 1645万円

問 (林議員) 給食費の一部負担を求めたが、検討した結果がこの給付金なのか。

答 (町長) 物価高、原油高が家計に非常に影響している。この給付金の一部を給食費として使うことも可能だし、ほかの物価高に充てることも可能。そういう意味で今回の給付金とした。

問 (竹本議員) 町内タクシー、フェリーへ給付金が出ているが、農業や漁業者も苦しいのではないか。

答 (町長) 限られた予算の中、今回は公共交通機関への給付金とした。今後の国や県からの補助金等を活用していきたいと思う。

工事請負契約

役場庁舎空調設備等更新工事
契約金額 2億5850万円
契約の相手方 興亜建設工業株式会社

10月17日 第3回臨時会

一般会計補正予算

補正予算額 3億1832万円

主な事業

ふるさと納税 2億円追加
電力・ガス・食料品等の価格高騰緊急支援給付金事業(住民税非課税世帯に5万円を給付) 1億1832万円

条例

- 長洲町職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- 金魚と鯉の郷広場条例の一部改正
- 長洲町議会議員及び長洲町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

議提

- ゆたかな学びの実現・教職員定数改善を図るための、2023年度政府予算にかかる意見書

意見書を採択し国会等に提出した。
意見書の内容はこちら



令和4年度 補正予算

一般会計 3億4625万円

主な事業

住宅リフォーム補助金 50万円追加
地域経済活性化キャンペーン 1521万円追加
ながす未来館空調設備改修工事 1億8516万円
新型コロナワクチン接種 8532万円追加

介護保険特別会計 1839万円 減額
令和3年度決算に伴う精算によるもの

問 (竹本議員) 地域経済活性化キャンペーンの追加とは。

答 (まちづくり課長) 8月から実施した、PayPayで決済すると20%のポイントが還元される事業で予算の不足が生じたため、追加するもの。

問 (福本議員) 生活のしづらさなどに関する調査とは。

答 (福祉保健介護課長) 障がい者世帯の状況を調査し、住居、就労、就学の状況や現在利用されているサービス、今後利用を希望するサービス等を調査するもの。